

石巻市震災復興基本計画策定に関する提案

募集期限;平成23年6月30日まで
提案件数;172件

復興対策室

No.	まちづくり	ゾーニング	防災対策	教育・文化	福祉・医療	雇用	産業	シンボルプロジェクト
1	<ul style="list-style-type: none"> ・商業地域の早期整備 ・パークタウンの開発 ・石巻港ICに東北自動車道JCTを設置 ・三陸自動車を女川、牡鹿半島方面へ延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇田が商業、行政 ・中心市街地が観光 ・中里～開成が文教 ・門脇西が医療 ・門脇東が工業 ・湊～万石浦が第一次水産業 ・牡鹿が第二次水産業 ・雄勝、北上が第三次水産業 	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防、防波堤の整備 ・津波対策支援部隊の設置 ・災害救助隊の編成 ・災害対策関連訓練校の設置 ・住宅、商業施設の耐震免震徹底と補助 ・避難所への補給経路の確保 ・避難所に備蓄施設設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災記念館の設立 ・慰霊碑の建設 ・震災「語り部」育成 ・慰霊祭の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・道路下水道整備等公共事業における地元雇用創出 ・漁港整備における地元雇用創出 ・土地造成における地元雇用創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業の復旧(NPなど) 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施設建設 							
3	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の「見晴し台」化とフラット化 ・浸水被災地の「記憶の丘」化 ・海岸景観美の形成 ・ワイヤードシティ化 						<ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業の基地化 	
4			<ul style="list-style-type: none"> ・住民の意識改革(危機意識を失わない工夫) ・危機環境に迅速に対応する設計 					
5	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤嵩上げ、高度利用、集落移転 ・旧町村、集落単位での合意形成 ・新エネルギー導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築制限区域の設定 ・旧町村、集落単位での組織 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難対策(避難施設、道路、防浪施設の整備) ・避難訓練、計画周知 ・バックアップ化、クラウド化 ・防災体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の建設、合築、再編 ・教員の加配、派遣依頼 ・学用品支援、災害遺児支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建設、合築、広域化 ・諸機能の回復、拠点化、広域化 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、福祉での地域雇用の維持、調整、創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁船、漁具、施設の共同利用 ・農地の再生、移転、集団移住 ・商工業者支援、雇用促進 ・漁協の再建、再編成強化 ・漁場の整備、経営基盤化 ・加工施設、流通施設の整備 ・再生可能農地の見極め、転用 ・転作、農家移転 	
6								<ul style="list-style-type: none"> ・ランドスケープ再生
7	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者用マンションの建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地に大規模公園 ・中心市街地に地元店舗再建 ・中心市街地に公営住宅 ・釜、大街道地区がグリーンベルト 					<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル産業(新産業) ・「TUNAMI」ブランドの自転車、福祉器具製造 ・石巻、鮎川、女川、雄勝港の4港を優先整備 ・人口地盤上に加工場を建設 	
8		<ul style="list-style-type: none"> ・被災地域の全域を国が強制収用し居住禁止 ・国が高台に団地を造成、低層マンションを建設し被災者に所有権を贈与 ・港湾用地は物揚場・上屋・加工倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> ・水陸緊急退避用車両 ・中央防災船舶センター 			<ul style="list-style-type: none"> ・土地造成、マンション建設に全国の業者を集め、作業員に被災者を充てる 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・がれき山公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・南浜、門脇町に市営駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(幅員20m以上)、災害時ヘリポート 					
10	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土による嵩上げ 							
11		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防沿いに植林、果樹園、公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の堤防建設 ・橋げたの強化 					<ul style="list-style-type: none"> ・堤防沿いに風力発電や太陽光発電設置

No.	まちづくり	ゾーニング	防災対策	教育・文化	福祉・医療	雇用	産業	シンボルプロジェクト
12			・箱舟の設置					
13			・川を埋める					
14								・瓦礫の地産地消
15			・道路の整備					
16		・水産ゾーンの土地買収	・河川対策の洪水対策					
17							・松島水族館の誘致	
18		・蛇田を早急に市街化区域に変更						
19							・仮設住宅での産業	
20								・多目的ビル
21		・市街地外に早急な建築制限、規制						
22							・大規模無農薬水耕栽培	
23								・塩害農耕地に米軍普天間基地の移転
24	・コンパクトシティ				・ステーションブリッジに自転車、車いす乗車可能なエスカレータの設置			
25			・霞堤による治水					・高台居住後の低地に魚付き林の森
26		・渡波字際の農地を宅地に転用						
27		・石巻西高校付近へJR仙石線の駅新設						
28			・水道管をポリエチレン管にし耐震強化					
29	・鉄道インフラの整備(新幹線の延伸、仙石線の東北本線乗り入れ)		・給食センターの炊き出し拠点化					
30			・防護壁を兼ねた道路整備					
31	・オンラインショッピング商店街の構築	・高台移住(国の土地買収) ・低所は企業へ提供 ・蛇田、真野、沼津に居住区造成	・被災者、支援者間のSNS構築 ・水力に抵抗せず、受け流す水害対策	・中瀬に文化拠点(劇場、映画館、博物館)			・震災ブランドの世界販売 ・農業の法人化	・まんがの街、文化人口の増加 ・メタンハイトレード施設の建設 ・焼却場で火力発電
32		・使わない土地にアパートや畑を建設、提供	・高台避難所					
33	・歩行者天国 ・花があふれるまちづくり ・若者の参画	・河南、桃生、牡鹿地区に住宅地建設	・冠水被害防止策 ・他自治体への支援体制確立 ・わかりやすい非常連絡	・震災記念館 ・図書館の充実(オーナー制度)			・共同ビルに地元商店入店(新設) ・小さなスーパーの配置	
34								・フォレストベンチ
35			・迎えに降りない建築ルール					・世界に誇る最新のエコロジー技術
36	・コンパクトシティ(食で賑わう街)	・南浜地区に空港(工場誘致)						・自転車の街
37					・津波被災遺稿の保存			
38	・半島部は地域単位でゾーニングをさせる							
39			・奥尻町の対策(避難路、人口地盤ほか)					
40	・100円バス運行							
41	・住民自治	・住宅の「高地換地」					・漁業機能の「復興共有地」	
42	・仙石線の複線化	・北罾山を防災避難地区 ・南光町、牧山、馬小山に住宅地造成	・大型土嚢、盛土、ポンプ ・避難ビル、避難道路				・商店街再開発	

No.	まちづくり	ゾーニング	防災対策	教育・文化	福祉・医療	雇用	産業	シンボルプロジェクト
43	・こどもが元気に育つまちづくり							
44					・子育て支援(無資格者による保育)		・旧市庁舎にテントを設置、立町店舗営業	
45	・ビル形式の集合施設						・地場産品の県外ショッブ	
46								・化石代替のバイオマス新規PDCプロジェクト
47		・中心市街地の公園化	・食料、飲料水の備蓄、入替時に安価販売				・新技術産業の誘致(企業、研究機関)	・環境拠点都市
48			・救命具着用					
49	・高齢者用震災復興共同住宅(5階建て)							
50	・仙石線の複線化と超高速化 ・仙台市のベッドタウン ・三陸自動車道の完全4車線化	・南浜地区を工業地区 ・蛇田、井内地区を住宅地					・立町は新アーケード、歩行者専用道	
51			・防災無線の各戸配置					
52	・区画整理事業		・スーパー堤防(土地買収不要)				・アンテナショップ設置、農水物産のIT販売	・商業地の確保再開ビル(上層部を居住地)
53	・山の乱開発反対							
54	・高機能炭化装置(廃棄物処理、環境浄化)						・エルマジョン燃料装置の導入	
55			・ランドマーク(避難ビルの常灯) ・防災訓練の義務化					
56	・新エネ宣言(持続可能性世界レベル)						・エコハウスのパッケージ化(域外販売)	
57		・実状に添った建築制限(×R398で区切る)						
58							・農地の復旧	
59					・仮設病院不要、早期に本設すべき			
60		・渡波R398北側を太陽光発電区	・避難路の確保		・渡波に東部病院(半島部の医療拠点)		・金華ブランドの輸出	
61			・避難方法を含むネットワークの形成 ・情報伝達策の強化(SNS等の活用)					
62			・情報伝達策の強化			・ハード事業の地元発注(雇用の創出)	・地元大手企業の早期再建(NP、ニチロ)	
63		・高台に住宅地						
64			・植林					
65			・地上式傾斜輸送設備の提案					
66	・仙石線の複線化(蛇田～山下を高架) ・三陸自動車道の完全4車線化と無料化 ・復興住宅を多く建設	・門脇地区に大企業誘致 ・蛇田地区を居住地 ・立町を歩行者専用(無料駐車場整備)			・市立病院は建設せず、日赤を支援、増築			
67								・エネルギーに関する世界唯一のプラン
68	・繁華街の形成 ・まんがのまち(萌えキャラ、コスプレでPR)			・スポーツ振興(マイナー競技の強化)			・FXや株式についての研修の場を設ける	・テーマパーク(水族館、遊園地の誘致) ・ソーラーパネルの設置と緑地化の推進

No.	まちづくり	ゾーニング	防災対策	教育・文化	福祉・医療	雇用	産業	シンボルプロジェクト
102	・コンパクトかつダイレクト ・車に頼らないまちづくり		・自然堤防の構築と道路嵩上げ ・既存堤防の高さや幅の再検討				・自然エネルギーの研究開発機能を持つ企業誘致 ・商店街の個店の集積	・太陽光、風力発電施設整備
103					・福祉施設の充実			
104		・蛇田地区にJR新石巻駅と公共施設を集約	・浸水区域には学校、病院等を建設しない	・スポーツ施設整備(ドーム、レガッタ、野外イベント会場、釣り場、マリナー整備)			・競艇場の誘致	・水上電動バス(観光的乗り物としても活用)
105	・公共交通の充実	・JR複線化	・幹線道路の整備		・コーポラティブ、シェアハウスの建設		・地場製品のブランド化、充実(体験)	・定期的なまつりの開催(ボランティア経験者の再訪問)
106			・波を押し返す形状の防波堤整備					
107								・期間限定の会員制リゾート村
108								・自転車普及とインフラ整備
109	・住居は中高層マンション	・石巻駅周辺に医療エリア ・蛇田地区にJR新石巻駅、自動車渋滞緩和						
110			・防災シェルター					
111		・JR仙石線全線複線化						・ヨットハーバー、水族館 ・エネルギー(メガソーラー、瓦礫焼却) ・スマートグリッド
112	・高台に住宅、学校、スーパー	・避難路の整備(自動車進入禁止)	・防災無線の整備 ・地下水の活用					・自家発電等電通システム ・EMの活用
113			・耐震、耐波施設の建設					・自立エネルギー施設整備
114	・震災前と同じまちづくり		・船型の防災ビル					
115								・津波ミュージアム&パーク
116							・宅配スーパー	
117		・住宅は高台へ移す ・南浜周辺地区は公園施設 ・牡鹿、雄勝、北上の一体的な交通網の整備 ・鰐山、日和が丘に地下街						
118	・サステイナブルインスタントシティ							
119						・被災者インタビュー		
120	・高齢者(健常者)の活用 ・町内会組織の強化(自主防災意識高揚、絆)		・防災ブック、案内掲示板の設置による意識啓発 ・防災フォーラム(官民協働、絆)	・防災教育の強化(市民、学校、事業所、行政等) ・防災情報、交流拠点となるセンターの設置(絆)			・一次産業の優先復旧 ・新エネルギー事業の導入	・環境に配慮したまちづくり、植樹植林運動 ・市議会議員、行政関係職員の大幅削減
121								・がれき利用による「緑の墳丘、回廊」
122			・南境周辺にも河川堤防を設置					
123	・賃貸アパートのような住宅の建設	・浜の近くは量のための作業場、住まいは高台	・消波堤の設置					・風力発電(名振地区)
124			・安全安心なネットワークシステムの構築					
125		・駅前中心部は行政、金融、医療 ・中央、中瀬地区は文化、芸術、防災					・特産品戦略センター	・植物工場、漁業、新エネ開発特区
126	・山地を切土し宅地確保	・海岸線に公園、運動施設	・堤防の補強、道路の嵩上げ等緩衝堤の整備	・震災記念館の建設、週1回の祭りの開催			・石巻市の名物を模したバス(観光)	・光ダクトシステム、地中熱交換システムの推進

No.	まちづくり	ゾーニング	防災対策	教育・文化	福祉・医療	雇用	産業	シンボルプロジェクト
127	・外人街を形成(中心部)	・住居は従来地、学校、病院、介護施設等は高台	・防潮堤の強化				・固定資産税、法人市民税の10年間無料化	・海洋研究
128				・三陸サイトミュージアムネットワーク(防災教育)				
129								・ライフペインティング
130					・移動支援サービス			
131	・ノーマイカー、レンタサイクル		・高層の避難所	・漫画のまち(ターゲットはサブカルチャーファン)			・一次産業の協同化	・川開きを日本一の慰霊祭に
132	・スマートシティ		・BCP策定(防災教育、訓練の強化)					・自然エネルギーの自立運転
133				・スポーツ振興(大会開催による経済効果大)		・高校生の雇用促進		
134	・川の保全と河川公園の設置		・防災無線の各戸配置、サイレンによる異常周知 ・避難所の看板設置、必需品備蓄 ・堤防、主要道路の嵩上げ	・体験型防災教育の実施				
135	・コーポラティブハウス				・コレクティブハウス			・ホテル、旅館再生プロジェクト
136							・ホテル代替えマイクロバス(復旧作業用)	
137			・津波に強い建物の建設(船型)					
138								・災害跡地にアブラナ科の植物(バイオマス活用)
139	・人口地盤の採用		・防災ハンドブックの配布 ・防災無線の強化	・学校施設の高床式構造				
140	・南境地区の総合的開発 ・鉄道輸送を中心とした公共輸送の利用開発	・文化センター、市民会館、病院、看護学校を蛇田、南境へ ・JR曾波神駅の移設	・曾波神公園の改修、防災拠点機能を持たせる	・エコツーリズム資源の活用				
141	・桃生地域に首都機能移転				・生活保護の見直し(現物支給、共同住宅生活)			
142	・高台と浸水地区の地価交換	・住宅は高台、水産加工団地も可能な限り高台へ					・ハウス栽培への農業変換(太陽光利用)	・クリーンエネルギーの活用
143							・水産加工を集約化するまちづくり会社設立	
144	・中心市街地コンパクト化(1階店舗、上層階住居) ・親水堤防							
145	・交通機関充実(脱自動車依存社会)		・高層ビル、避難路の確保	・文化センター、市民会館等文化施設は中心部へ	・市立病院(仮設)は旧石巻市庁舎を活用 ・高齢者居住ゾーンに保育所を併設			
146	・運河の堀削(かつての小川の再生) ・水上バスの運行		・避難塔(ランドマーク、病院や役所と近接)		・渡波地区に病院建設(急性期のみ) ・モール化(介護ケアセンター、保育所、店舗)			・自然エネルギーの活用(風力、潮汐、太陽光)
147								・石巻市地域通貨の発行
148	・2m盛土地盤、堤防は5m以下(景観重視) ・共同住宅(1階は店舗)		・電柱をなくし、ライフラインは共同溝で一括配置					
149	・民間力の活用		・基盤インフラの埋設					
150								・瓦礫、津波堆積土砂の有効利用

No.	まちづくり	ゾーニング	防災対策	教育・文化	福祉・医療	雇用	産業	シンボルプロジェクト
151			・消波ブロックの造成、岸壁の補修					
152	・復旧、復興作業にスマートスーツライトの着用							
153			・災害用水(井戸、沢等)、暖房器具等備蓄 ・防波林 ・優先避難道路(信号待ち無し) ・到達高の表示	・大規模防災訓練の実施(追悼式と合わせて) ・防災知恵集(冊子)の作成、配布			・次世代エネルギー、災害用アイテム開発企業誘致	・企業を巻き込んだ復興資金調達
154	・石巻の特色を活かし、災害にも強い水際都市 ・建物の共同化でコモンスペースを生み出す	・親水性と防災性を兼ね備えた美しい水辺空間	・安全に逃げられるまち(避難ルート、ビル) ・瓦礫が流れ込まない街(建築物の工夫)			・水際の利活用で働く場とにぎわいの場の創出		・マンガタン島
155	・自転車で移動できるまち	・災害跡地に公園					・地産地消	
156	・新エネの活用と市民参加によるスマートコミュニティ						・廃棄物ゼロの資源循環型スマートタウン	・潮流、河川エネルギー発電
157								・バイオエネルギー産業
158			・瓦礫を利用した海岸堤防を建設 ・海岸地域への津波避難タワー建設					
159	・海辺の土地の積極的利用		・避難ビル、避難経路の整備	・大学、企業の研究施設を誘致				
160			・個人情報発信機の着用 ・地域防災情報の発信(携帯メール・FMラジオ)	・災害研修センター(防災技術の確立や全国からの研修基地として利用)				
161			・災害に強いトイレの開発					
162			・耐震性と耐風性をもつ鉄骨システムの活用					
163	・歩いて楽しいまちなか生活(コンパクトシティ)	・水を受け入れ活かすまちづくり(親水空間の創出)		・教育文化施設のまちなか移転	・病院のまちなか移転		・つながりを生み出すまちなか産業	・中心地にマルシェを点在させる
164					・地域に密着したグループホームの建設			
165	・新公共交通システムの導入、整備	・高台に住居ではなく、高台に避難地	・避難地までの避難路の確保					
166	・新公共交通システムの導入							・商業ゾーンの開発は昭和初期の雰囲気を出
167					・住居、医療、介護、生活の複合施設建設			
168					・地域に密着したグループホームの建設			
169		・海岸沿いには松林帯、自然草原、畑を整備						
170	・森林浴ができる遊歩道の整備	・冥福を祈る丘として従前居住地の見晴台をつくる ・避難ビル(平常時は宿泊施設)	・堤防とグリーンベルト地帯の二重防波構造	・津波学習館の建設 ・アーティストたちの森を整備(文化活動中心地)				
171								・がれきの山(瓦礫を埋立てて造る山、有事は避難所、平常時は記憶の象徴)
172	・市民と行政が協働できる拠点を小学校区ごとに整備 ・漁業と観光で人を呼べるまちづくり		・公共施設は防災拠点になるよう建設	・市立高校に防災科を新設する ・災害の教訓を市民レベルで語り継ぐ		・「津波ブランド」の創出(お酒など)	・生鮮マーケット、簡易市場の早期開設	・次世代エネルギー導入都市宣言(全戸にソーラーパネル設置)